

頭ジラミに注意しましょう

「頭ジラミ」注意報！

シラミには、「頭ジラミ」、「毛ジラミ」、「コロモジラミ」の3種類がありますが、特に子どもを中心に、集団生活をしていると感染しやすいのが、「頭ジラミ」です。
ページの概要：生活衛生セミナー「アタマジラミ、その現状と対策」のご案内です。

* 顕微鏡で見た、アタマジラミ



● どんな症状があるの？

- ・ 「頭ジラミ」は頭髪に寄生して、頭皮から吸血し、かゆみ、湿疹などをおこします。

● すぐ、発見できるの？

- ・ 「頭ジラミ」の成虫はオスで2～3ミリ、メスは2～4ミリ程です。「頭ジラミ」は1週間くらいの卵の期間を過ぎ、7～16日の幼虫の期間を過ぎて成虫になります。
- ・ 「頭ジラミ」は毛についた卵や卵の殻で発見できますが、フケと間違えやすいので発見が遅れる場合があります。しかし、「頭ジラミ」の卵はフケとは違って毛にこびりついているので、よく観察すると見分けがつかます。

● なぜ、うつるの？

- ・ ブラシ、枕や寝具を共に使う集団生活では感染しやすくなります。不潔だからうつる、というわけではありません。

● 「頭ジラミ」を見つけたらどうするの

- ・ 「頭ジラミ」を駆除する、「スミスリン」という薬があり、パウダータイプとシャンプータイプがあるので、それで駆除できます。

「頭ジラミ」はみんなで、駆除しないとなくなりません。見つけたら、早めに避難所のリーダーや保健師、薬剤師、医師、看護師に相談して下さい。

誰かの責任ということではないのですから隠さないで・・・。